

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【公表番号】特表2016-514907(P2016-514907A)

【公表日】平成28年5月23日 (2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2016-505622(P2016-505622)

【国際特許分類】

H 0 1 G 11/26 (2013.01)

H 0 1 G 11/60 (2013.01)

H 0 1 G 11/62 (2013.01)

【F I】

H 0 1 G 11/26

H 0 1 G 11/60

H 0 1 G 11/62

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月31日 (2017.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 外面および対向する第 1 内面を有する第 1 導電性電極；

前記第 1 導電性電極の第 1 内面上の第 1 非導電性コーティング；

前記第 1 導電性電極との間に配置される前記第 1 非導電性コーティング上の誘電体材料；および

前記第 2 導電性電極と前記第 1 非導電性コーティングとの間に配置される前記誘電体材料に隣接する第 2 導電性電極を備えるキャパシタであって、

前記キャパシタが第 1 導電性電極から第 2 導電性電極までの全体の厚さを有し、前記第 1 非導電性コーティングが前記全体の厚さの 10 % 未満の厚さを有する、キャパシタ。

【請求項 2】

前記第 2 導電性電極と前記誘電体材料との間に配置される前記第 2 導電性電極上の、前記全体の厚さの 10 % 未満の厚さを有する第 2 非導電性コーティングをさらに備える、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 3】

前記誘電体材料が変動粘度誘電体材料であり、前記変動粘度が外部刺激に応答して粘度の変化を示す、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 4】

前記誘電体材料が外部刺激を印加すると粘度を上昇させ、外部刺激を除去すると粘度を低下させる、請求項 3 に記載のキャパシタ。

【請求項 5】

前記誘電体材料が外部刺激を印加すると粘度を低下させ、外部刺激を除去すると粘度を上昇させる、請求項 3 に記載のキャパシタ。

【請求項 6】

前記誘電体がエネルギーをある速度で放出し、前記速度が誘電体の粘度が低下すると上

昇する、請求項 3 に記載のキャパシタ。

【請求項 7】

前記誘電体がエネルギーをある速度で放出し、前記速度が誘電体の粘度が上昇すると低下する、請求項 3 に記載のキャパシタ。

【請求項 8】

前記第 1 非導電性コーティングが縮重合キシレンモノマーを含む、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 9】

前記第 1 非導電性コーティングがポリレンポリマーおよびブラレンポリマーから選択されるポリマーを含む、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 10】

前記第 1 非導電性コーティングが金属酸化物を含む、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 11】

前記誘電体材料が粘度低減剤を含み、前記誘電体材料がある粘度を有し、前記誘電体材料が外部刺激に応答して第 1 粘度から第 2 粘度までの粘度の上昇を示し、外部刺激の除去により第 2 粘度から第 1 粘度までの粘度の低下を示す、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 12】

前記誘電体材料が粘度上昇剤を含み、前記誘電体材料がある粘度を有し、前記誘電体材料が外部刺激に応答して第 1 粘度から第 2 粘度までの粘度の低下を示し、外部刺激の除去により第 2 粘度から第 1 粘度までの粘度の上昇を示す、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 13】

前記誘電体材料が導電性ポリマー、非導電性ポリマー、無機金属酸化物、金属酸化物混合物、バイオポリマーから選択される誘電体物質を含む、請求項 1 に記載のキャパシタ。

【請求項 14】

前記誘電体材料が電気粘弾性誘電体物質、磁気粘弾性誘電体物質、および / またはビンガム塑性誘電体物質を含む、請求項 1 に記載のキャパシタ。